

市政記者各位

令和8年4月24日  
農林水産局農業振興・イノシシ等対策担当  
経済観光文化局創業推進部

mirai@公民共働事業“鳥獣対策 DX 実証プロジェクト第1弾”



## 『イノシシの生息分布や行動経路の調査』

に係る実証プロジェクト開始

近年、野生鳥獣による農業被害が続いており、その中でもイノシシによる被害は被害額全体の3分の2を占めています。

この度、イノシシの捕獲や防除を効率的に行うため、イノシシの生息分布や行動経路を調査する実証実験を開始しますのでお知らせします。

### 1 実証プロジェクトの目的

福岡市では、イノシシが多発するエリアに赤外線式の固定センサーカメラを設置し、その行動範囲を把握したうえで捕獲用のわなを設置しています。しかし、センサーカメラの設置台数には限りがあるため、イノシシの行動範囲すべてを把握できていないわけではありません。

今回のプロジェクトでは、ドローンやDNA分析など多様な技術を活用し、イノシシの生息場所や行動経路、侵入リスクが高い地点などをエリア全体で俯瞰的に捉え、より効果的な捕獲を目指します。

### 2 実施事業者（3社） ※詳細は「5 提案企業の技術概要紹介」参照

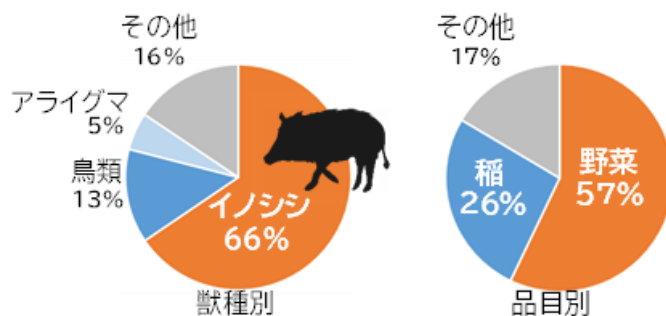
- ・株式会社スカイシーカー
- ・株式会社地域環境計画
- ・株式会社フィッシュパス

### 3 実証時期

令和8年4月24日以降順次開始

### 4 実証場所

早良区山間エリア 他



鳥獣による農業被害額の内訳  
(福岡市、令和6年度)

#### 【問い合わせ先】

■ プロジェクトに関すること  
農林水産局  
農業振興・イノシシ等対策担当  
担当：中村  
電話：707-1607 (内線 2633)

■ mirai@に関すること  
経済観光文化局  
創業推進部 (企業連携担当)  
担当：高村  
電話：711-4879 (内線 1219)



## 5 提案企業の技術概要紹介

企 業 名	プロジェクト概要
<p>株式会社スカイシーカー</p>  	<p><b>■実証実験の概要</b></p> <p>ドローンによる夜間・日中の撮影および画像解析を通じて、イノシシの行動経路や出没場所が特定できるか検証</p> <p>(1)赤外線カメラを搭載したドローンで夜間撮影を行い、調査範囲におけるイノシシの数や行動経路を把握</p> <p>(2)可視光カメラを搭載したドローンで日中撮影を行い、イノシシの痕跡や獣道等を確認</p> <p>(3)調査結果をもとに、イノシシの行動経路や出没リスクエリアを地図上で可視化</p> <p><b>■特徴</b></p> <p>○イノシシの出没リスクマップをもとに、最適なわなの設置場所の提案が可能</p>
<p>株式会社地域環境計画</p>  <p>カメラ配置 当社独自 AI画像解析</p> <p>イノシシ</p> <p>面的な生息分布 個体属性(幼獣・成獣)を可視化</p> <p>効率的な捕獲計画の立案へ</p> <p>つなげる自然、つなげる社会  <b>CHIIKAN</b>      地域環境計画</p>	<p><b>■実証実験の概要</b></p> <p>センサーカメラによる多点連続撮影およびAI画像解析により、イノシシの面的な生息分布や個体属性（成獣・幼獣）を可視化し、効率的な捕獲対策につながるか検証</p> <p>(1)センサーカメラで多点・連続的な撮影を行い、調査範囲におけるイノシシの出没ポイントなどを把握</p> <p>(2)AI画像解析により、カメラに映ったイノシシを「成獣」と「幼獣」に自動判別</p> <p>(3)調査結果をもとにイノシシ行動範囲や生息分布を推測し、地図上で可視化</p> <p><b>■特徴</b></p> <p>○イノシシを「成獣」「幼獣」に判別することで、より効果的な捕獲手段の提案が可能</p>
<p>株式会社フィッシュパス</p>  	<p><b>■実証実験の概要</b></p> <p>複数地点の河川や水路等の水に含まれる環境DNAを分析し、周辺のイノシシの生息分布や行動経路を推測できるか検証</p> <p>(1)河川・水路などから水を採取</p> <p>(2)環境DNAを分析し、イノシシの生息情報を判定</p> <p>(3)調査地点周辺の「イノシシの生息分布」「分布濃淡」「行動経路」を推測し、地図上で可視化</p> <p><b>■特徴</b></p> <p>○科学的根拠に基づき、面的・定量的にマップ化することで、捕獲地点の最適化や対策効果検証など戦略的な対策が可能</p> <p>○分析結果を分かりやすく可視化する「環境DNA分析レポートシステム（特許取得済）」を採用</p>